

ち筆者の知る範囲ではツヤハダクワガタを県下から記録されたのは大上宇一氏の“播磨産甲虫類”（1907）の中でだけの様に思われる。この記録も詳しいデータが無いし同定について“松村博士の日本千虫図解による”とあるから同書第3巻, pl.45, f.42によってであると本種ではなくチビクワガタ *Figulus binodulus* Waterhouseと間違えられたのでは無いかと言う気がしないでもないとしておいた。その後筆者は寡聞にして本種の兵庫県下での記録を知らなかった。北部山岳地域にはどうもいるのではないかと常々考えてはいたが一。

最近（1987年6月1日）大阪の大築正弘氏から次の様なうれしい御教示を頂くことが出来た。

即ち箕面昆虫館に氷の山産♂のツヤハダクワガタの標本が展示してあったと言うのである。旧館の時のことで新館では展示されていないとのこと現在標本がどうなっているかわからない。詳しいデータが無く氷の山と言っても鳥取県側か兵庫県側のどちらかもわからない。とに角間違いなく氷の山で採集されたものがあったと、また友人の方も確認しておられるとのこと。

更にこの後6月4日送られて来た“昆虫と自然 Vol.22, No. 7”の中で田中正浩氏が“兵庫県のクワガタムシ”を発表しておられツヤハダクワガタについては田中氏自身氷の山で幼虫を採集されたが飼育に失敗し標本が無いと言うことと豊岡高等学校に氷の山産の標本があったことを記しておられる。いずれも氷の山での記録であるので氷の山に本種がいることは間違い無い様だがどれも詳しいデータが全くわからない。それと標本が残念なこととどこにあるのかはっきりとしないものばかりである。そこで但馬地域の同好者の皆サンの頑張りで確認して頂きたいものと希望すると同時にこの貴重な情報を御教え下さった大築氏への御礼の意味をこめて此処に一文をしたためた次第である。

(JUNE 1987)

## 県内学会誌・同好会誌・連絡誌紹介（1985-1987）

第13巻第2号以後県関係文献紹介を中止していた。一応1985年～1987年7月迄に出版された県内学会誌・同好会誌・連絡誌名を此処に紹介しておきたい（勿論紹介者の手許に届いたものだけの収録であり他にもまだあることだとは思っている）。尚県産昆虫に関する文献は大変多く甲虫に関するものだけを見ても結構ある（拙編文献目録追加篇Ⅰ, 1984以後1986年末迄でも260篇ある）。これ等を紹介することは今の所見込めないが何等かの方法を考えたいと思っている。

兵庫生物 (兵庫県生物学会)

Vol.9, No.2(1986.2). Vol.9, No.3 (1987.1).

兵庫陸水生物 (兵庫陸水生物研究会)

No.20(1985.10). No.21(1986.1). No.22(1986.5).

No.23(1986.7). No.24(1986.9). No.25(1986.10).

No.26(1987.2)(この号よりワープロによる印刷に変わった). No.27(1987.5). No.28(1987.7).

伊丹の自然 (伊丹市立博物館)

第1号(1984.3). 第2号(1985.3). 第3号(1986.3).

第4号(1986.1). 第5号(1987.6).

てんとうむし (姫路昆虫同好会々誌)

No.10(1987.2).

姫昆サロン (姫路昆虫同好会連絡誌)

No.76,77(1985.9). No.78(1985.11).

IRATSUME (但馬むしの会々誌)

No.10(1986.5). No.11(1987.5).

昆虫ずかん (但馬むしの会連絡誌)

No.10(1985.11). No.11(1985.12). No.12(1986.1).

No.13(1986.8). No.14(1986.12). No.15(1987.1).

No.16(1987.4).

PARNASSIUS (淡路昆虫研究会々誌)

No.32(1987.4).

INSECT (淡路昆虫研究会連絡誌)

No.33(1987.4).

Crude(大阪昆虫同好会々誌)

No.26(1985.9). No.27(1985.12). No.28(1986.8).

No.29(1986.12). No.30(1987.7).

のせ (大阪昆虫同好会連絡誌)

Vol.14, No.2-10(1985.2-1985.12).

Vol.15, No.1-10(1986.1-1986.10).

Vol.16, No.1-7(1987.1-1987.7).

その他に久方振りに生物甲陽（甲陽学院高等学校、生物部）Vol.15(1987.4)が送られて来たが残念ながら昆虫に関する記事が見当たらなかった。

### お詫び

前第15巻第1号p.15のタイトル“ハラグロオオテントウの生活史”としなければいけない所編者の不注意で“ハラグロオテントウの生活史”と誤ったまま御送り致しました（発送の時わかったのですが一）。慎んで訂正させていただきます。

著者東 先生並びに会員の皆様に深くお詫び申しあげます。